

nord grand 2

KAWAI H A M M E R A C T I O N

ユーザーマニュアル

Nord Grand 2
日本語

OS バージョン: 1.0x

はじめまして!

この楽器の性能を最大限に活かすため、これらのダウンロードコンテンツをご確認ください。いずれも nordkeyboards.com から無料で入手できます。



OS アップデート

お使いの機器に対応する最新バージョンの OS は、nordkeyboards.com から随時提供されます。



Nord Sound Libraries

Nord ユーザーには、Nord Piano Library と Nord Sample Library から構成される、Nord Sound Libraries が提供されます。高品位なサウンドの数々に加え、世界中の有名アーティストが手掛けた Signature Sound Bank もラインナップされています。



Nord Sound Manager

バックアップやレストア、お使いの機器への Nord Sound Library の転送と管理には、Nord Sound Manager を使います。



Nord Sample Editor

Nord Sample Editor を使えば、サンプルの編集からお使いの機器への転送までを手軽に完結できます。オーディオファイルをドロップするだけで、キーボードへのマッピングもピッチ検出も自動で行われます。

もくじ

1 はじめに	6	ソフトペダル	14
ありがとうございます	6	ティンバー	15
主な特長	6	アコースティックピアノのティンバー設定	15
Nord Online	6	エレクトリックピアノのティンバー設定	15
OS アップデート	6	クラビネットの設定	15
無料のサウンド	6	ユニゾン	15
カスタムサンプル	6	ライブラリーの情報を確認する	15
工場出荷時の状態に戻す	6	5 サンプルシンセ	16
ユーザーマニュアルについて	6	レイヤーのオン/オフとレベルの調整	16
マニュアルを PDF 形式で読む	6	レイヤーボタンとエフェクトフォーカス	16
免責事項	6	キーボードゾーン	16
2 概要	7	オクターブシフト	16
Nord Grand 2 を構成する要素	7	サステインペダルとボリュームペダル	16
マスターセクション	7	サンプルインストゥルメントを選択する	16
ピアノセクション	7	リストビュー	16
サンプルシンセセクション	7	サンプルインストゥルメントの音作り	17
プログラムセクション	7	ダイナミクス	17
エフェクトセクション	7	エンベロープ	17
3 始めましょう	8	ティンバー	17
電源を入れる	8	モノラルゲート	17
パネルコントロール	8	グライド	17
フェーダー	8	ユニゾン	17
ダイヤルとノブ	8	ピブラート	17
ボタン	8	ピブラートメニュー	17
ボタンの長押し	8	ピブラートボタン	17
シフト機能	8	6 プログラム	18
マスターレベルノブ	8	トランスポーズ	18
ソフトボタン	8	パニック	18
プログラム	9	キーボードスプリット	18
プログラムを選ぶ	9	キーボードスプリット設定	18
リストビュー	9	スプリットポジションを調整する	18
プログラムを編集する	9	スプリットにクロスフェードを適用する	18
メモリープロテクションをオフにする	9	ストア	19
プログラムをストアする	9	プログラムをストアする	19
ライブモード	10	名前を付けてストアする	19
エフェクトをかける	10	シフトボタン	19
サンプルシンセをレイヤーする	10	ライブモード	19
2 つのピアノをレイヤーする	10	プログラムビュー	19
2 つのレイヤーにエフェクトをかける	10	プログラムボタン	20
スプリットを組む	10	プログラムとは	20
スプリットにクロスフェードを適用する	11	メニュー	20
4 ピアノ	12	プログラムダイアル	20
レイヤーのオン/オフとレベルの調整	12	プログラムリストとソート	20
レイヤーボタンとエフェクトフォーカス	12	イニシャライズ	20
キーボードゾーン	12	プログラムを整頓する	20
オクターブシフト	12	オーガナイズビューに入る	20
サステインペダルとボリュームペダル	12	2 つのプログラムを入れ替える	20
ピアノサウンドについて	12	プログラムを移動する	20
Nord Piano Library のファイルサイズについて	13	MIDI LED インジケーター	20
ピアノサウンドを選ぶ	13	7 エフェクト	21
クラビネットについて	13	概要	21
ピックアップの種類	13	エフェクトとグローバルモードのオン/オフ	21
リストビュー	13	エフェクトフォーカスとエフェクトオフ	21
キーボードタッチ	13	モジュールーション 1	21
ダイナミックコンプレッション	13	コントロールペダル	21
アコースティクス	14	トレモロ	21
ソフトリリース	14	パン 1 & パン 2	21
ストリングレゾナンス	14	スピン	21
ペダルノイズ	14	ワウ	22
Nord Triple Pedal	14	リングモジュールーション	22
サステインとハーフペダル	14	モジュールーション 2	22
ソステヌート	14	エフェクトをモノラル仕様で使う	22
		フェイザー 1 & フェイザー 2	22
		フランジャー	22
		コーラス 1 & コーラス 2	22
		パイプ	22

ディレイ.....	22
ピンポンディレイ.....	22
フィードバックフィルター.....	22
フラム.....	23
タップテンポ.....	23
イコライザー.....	23
アンプ.....	23
オーバードライブ.....	23
アンプモデル.....	23
Alt Tone 設定.....	23
コンプレッサー.....	23
グローバルリバーブ.....	24
リバーブタイプとプリディレイ設定.....	24
ブライツ/ダークモードとコラール設定.....	24
レイヤーセンド.....	24
8 MIDI	25
MIDI 機能	25
MIDI チャンネル.....	25
Nord Grand 2 の演奏を MIDI シーケンサーまたは DAW ソフトウェアに記録する.....	25
MIDI メッセージ	25
ノートオンとノートオフ.....	25
コントローラー.....	25
プログラムチェンジ.....	25
ローカルコントロール.....	25
パニック.....	26
9 Nord Sound Manager	27
Nord Sound Manager について.....	27
動作環境.....	27
10 Nord Sample Editor 4	28
Nord Sample Editor 4 について.....	28
動作環境.....	28

1 はじめに

ありがとうございます

Nord Grand 2 をお選びいただきありがとうございます。クリエイティブかつパワフルなサウンドデザイン機能と、エレガントで直感的なユーザーインターフェイス、そして妥協なき演奏体験。そのすべてを提供するべく、本機は設計されました。

プレミアムなカワイ製レスポンシブハンマーアクション鍵盤は、すべてのキーに3つのセンサーを搭載。これまでにないリアリズムと抑揚表現をかなえます。

Nord Grand 2 のサウンドを支える Nord Piano Library は、細心の注意を払ってサンプリングされた、ピアノとその他の鍵盤楽器の広範なコレクションです。随時新しいサウンドが追加され、そのすべてを無料でダウンロードできます。

Nord Grand 2 が、今後何年にもわたってあなたの音楽にインスピレーションを与え続けることを願っています。

主な特長

Nord Grand 2 の主な特長は次の通りです。

- ・ スプリット構成やレイヤー構成に便利な、独立したレイヤーを2つ備えたピアノセクション。Grand、Upright、Electric、Clavinet/Harpsichord、Digital の各カテゴリーから好きなサウンドを組み合わせて、贅沢なピアノレイヤーを作成できます。Misc カテゴリーは表情豊かなマレット楽器 – マリンバとピブラフォンを提供します。
- ・ トリプルセンサーと象牙調タッチを備えた、カワイ製 88 鍵レスポンシブハンマーアクション鍵盤。
- ・ サンプルシンセセクションにも独立したレイヤーを2つ装備。
- ・ すべてのレイヤーで個別に備えた、網羅的なエフェクトセクション。
- ・ プログラム変更時の音切れを防ぐ、シームレストランジション。
- ・ レイヤーごとのキーボードゾーン設定と、ポイント近辺でのクロスフェード設定を備えた、キーボードスプリット機能。

Nord Online

Nord Web サイト nordkeyboards.com でこれらにアクセスできます。

- ・ Nord Grand 2 やその他の Nord 製品に関する情報。
- ・ 最新の OS のダウンロード。
- ・ 無料のソフトウェア – Nord Sound Manager、Nord Sample Editor 4、およびドライバー。
- ・ Nord Piano Library サウンドの無料ダウンロード。
- ・ Nord Sample Library サウンドの無料ダウンロード。
- ・ Nord World – Nord 製品にまつわるニュース、セッション、およびその他の動画。
- ・ ユーザーマニュアルのダウンロード。

Facebook、Instagram、X (Twitter)、および YouTube で Nord Keyboards をフォローしてください。SNS への投稿には公式ハッシュタグ #iseenord をお気軽にお使いください。

OS アップデート

Nord Grand 2 用の最新 OS はいつでも Nord Web サイトからダウンロードできます。Update History ページでは、どの機能が更新されたのかをバージョンごとにまとめて閲覧できます。お使いの機器を最新バージョンに保つため、定期的を確認するようおすすめします。

無料のサウンド

Nord Grand 2 では、Nord Piano Library および Nord Sample Library のサウンドファイルと Nord Sound Manager アプリケーションを用いて、本体メモリー上のすべてのピアノとサンプルを入れ替えることができます。操作に必要なものはすべて無料でダウンロードできます。

カスタムサンプル

Nord Sample Editor 4 を使えば、カスタムサンプルの作成を素早く簡単に行えます。全鍵にマッピングした本格的なインストゥルメントを作成する場合でも、シンプルな効果音や楽曲のイントロのみを単一のキーに割り当てる場合でも、Nord Sample Editor 4 は Nord Grand 2 とともに多くの可能性を広げます。

工場出荷時の状態に戻す

工場出荷時のプログラム、ピアノ、およびサンプルは、それぞれ個別の Nord Sound Manager バンドルファイルとして Nord Web サイトからダウンロードできます。すべての設定とコンテンツを復元するために必要な、「まるごとバックアップ」ファイルも提供しています。詳しくは、「ファクトリーレストア手順ガイド」(※ページ) をご参照ください。

☞ (訳注) Nord 製品では工場出荷時の状態に戻す操作を「ファクトリーレストア (Factory Restore)」と呼びます。

ユーザーマニュアルについて

このマニュアルは Nord Grand 2 に搭載されたすべての機能を網羅するように構成されています。演奏や制作の現場で役に立つ、実践的な活用例もご紹介しています。

マニュアルを PDF 形式で読む

PDF 版マニュアルは Nord Web サイトの Downloads ページからダウンロードできます。

免責事項

このマニュアルにおいて言及されるあらゆる商標やブランド名は、それぞれの所有者の財産です。これらへの言及は、Nord Grand 2 が生成する特定のサウンドに対する説明を補助することのみを目的としており、Clavia が認可や提携を受けたことを示すものではありません。

2 概要



マスター

ピアノ

サンプルシンセ

プログラム

エフェクト

Nord Grand 2 を構成する要素

Nord Grand 2 のフロントパネルは、関連する機能のグループである「セクション」の連なりにより構成されています。左から順に見てみましょう。

マスターセクション

最も左に位置するマスターセクションには、機器全体の音量レベルをコントロールするための **[MASTER LEVEL]** ノブと、サンプルシンセのビブラートを手でコントロールするための **[VIBRATO]** ボタンが配されています。詳しくは「***」（*ページ）をご参照ください。

ピアノセクション

Nord Grand 2 は、ピアノとその他の鍵盤楽器の広範なコレクションである Nord Piano Library に対応しています。随時追加される新しいサウンドは、Nord Web サイトから無料でダウンロードできます。

ピアノセクションには 2 つのレイヤーがあり、それぞれに備えられたパネルコントロールを使って、簡単にオン/オフしたり組み合わせたりできます。

このセクションにはアコースティックピアノのためのストリングレゾナンス機能 (**STRING RES**) をはじめ、ベロシティレスポンスの調整 (**KB TOUCH**)、ピアノサウンドのキャラクターの変更 (**TIMBRE**)、およびユニゾン (**UNISON**) といった各要素へのコントロールもまとめられています。

同梱されている Nord Triple Pedal 2 を使えば、ダンパー機構によって奏でられるノイズを再現するダイナミックペダルノイズ (**PEDAL NOISE**) 機能に加え、ウナコルダやソステヌートといったピアノ特有の奏法にも対応できます。

サンプルシンセセクション

Nord Sample Library は Nord Grand 2 オーナーに、Mellotron や Chamberlin といった著名なビンテージテープサンプラーから、豊かな Symphobia スtrings に至るまで、世界クラスの膨大なサウンドへのアクセスを無料で提供します。

数々のサンプルが工場出荷時からスタンバイしており、そのキャラクターやレスポンスはパネルから直接、さまざまな方法で調整できます。

モノ (**MONO**)、レガート (**LEGATO**)、およびピッチの変化にかける長さを 3 段階で調節できるグライド (**GLIDE**) の各モードを使えば、伝統的なモノフォニックシンセサウンドを再現することもできます。

サンプルシンセセクションにもピアノセクションと同様に 2 つのレイヤーとそれぞれに独立したレイヤーコントロールが備わっています。

プログラムセクション

Nord Grand 2 では、ピアノ、サンプル、エフェクト、スプリット、およびトランスポーズの各設定をまとめたものを「プログラム」と呼びます。

プログラムセクションでは、プログラムの選択や保存、さまざまなパフォーマンス機能や設定メニューへのアクセスを行えます。ピアノ/サンプルサウンド名の表示も担う大型 OLED ディスプレイが、各操作を助けます。

エフェクトセクション

すべてのピアノ/サンプルレイヤーに個別のエフェクトチェーンを備えた Nord Grand 2 は、自由度の高いサウンドデザインを実現します。エフェクトで作成したレイヤーを複数重ねることも、思いのままです。

MOD 1 と **MOD 2** は、伝説的な名機モデリングに基づいた、トレモロ、フェイザー、コーラスなどの主要な変調系エフェクトを提供します。Mod 1 のすべてのエフェクトはペダルでの操作に、Mod 2 のすべてのエフェクトはステレオ/モノラルの切り替えに、それぞれ対応しています。

EQUALIZER は中域の周波数のみ調整できる 3 バンド構成で、レイヤーごとに使うことも、**GLOBAL** 設定でマスター EQ のように使うこともできます。

AMP には絶妙なクランチから「フルテン」の歪みまで、さまざまなアンブシミュレーションが **ALT TONE** オプションとともに用意されています。

COMP では細やかなダイナミクスの調整とあらゆるコンプサウンドの生成の両方が可能です。

DELAY はさりげないアンビエンスの生成から「スラップバック」効果、鳴りやむことのない音空間の創造に至るまで、あらゆる用途に使えます。3 つの異なるフィードバックフィルター (**FB FILTER**) と **PING PONG** オプション、**FLAM** エフェクトを使って、幅広いバリエーションを実現できます。

REVERB ではさまざまな空間リバーブとスプリングリバーブが提供されます。**PRE-DELAY** ではプリディレイタイムの長短の調節が、**BRIGHT/DARK** モードと **CHORALE** オプションではさらなる雰囲気演出ができます。

3 始めましょう

この章では一般的なシナリオとタスクを通じ、Nord Grand 2 の基本的な機能を段階的に説明します。

電源を入れる

- 1 付属の電源コードで電源コンセントと Nord Grand 2 本体を接続します。ペダルやモニター機器も Nord Grand 2 に接続します。
- 2 Nord Grand 2 の電源を入れます。電源を入れるタイミングは、必ずモニター機器の前に行ってください。出力音量にご注意ください。

Nord Grand 2 に搭載されたすべての接続端子を含む詳細については、「資料: 接続端子」(*ページ)をご参照ください。



[ON/OFF] ボタンは機能または機能のグループを有効化/無効化するために使います。ボタンの横には、オン/オフ状態を示す LED が付いています。

ボタンの長押し



TRANSPOSE [ON/SET ▼] のように下向き矢印(▼)を伴ったボタンでは、0.5 秒程度長押しすることで別の機能にアクセスしたり、追加の設定を行ったりすることができます。

パネルコントロール

フェーダー



フェーダーは、レイヤーの現在の音量レベルを視覚的に表示する LED インジケーターと、物理スライダーの 2 つからなります。各セクションのレイヤー A とレイヤー B のそれぞれにフェーダーが備わっています。

ダイヤルとノブ



Nord Grand 2 では、**[PROGRAM]** のように始点と終点が固定されていないノブを「ダイヤル」と呼びます。メニューを遷移したり、プログラムやパラメーターを選択したりするために使います。



Nord Grand 2 のほとんどのパラメーターは、ポテンシオメータータイプのノブを使って設定します。多くの場合、プログラムからロードされた直後の各パラメーターの設定値は、パネルが示すものと一致しません。このような場合でも、ノブを回せばすぐに対応するパラメーターが追従し、サウンドを変化させます。

- 💡 設定値に影響を与えずに現在の設定値の確認のみを行うには、**[SHIFT]** ボタンを押しながら対応するノブを回します。

ボタン



セレクターボタンは、いくつかの候補から単一の設定を選択するためのコントロールです。現在の設定を示す円形または三角形の LED が付いています。ボタンを押すごとに設定が切り替わります。

シフト機能



Nord Grand 2 に備わったパネルコントロールの多くは、ラベル下段に示されるもうひとつの機能を持っています。これらには、**[SHIFT]** ボタンを押しながらノブやボタンを操作することでアクセスできます。

- 💡 ほとんどのシフト機能は、対応するボタンを 1 秒程度長押しすることでも使えます。

Shift ボタンは **[EXIT]** ボタンとして、メニューを閉じたり操作をキャンセルしたりするときにも使います。

マスターレベルノブ



[MASTER LEVEL] ノブは **[LEFT OUT]**、**[RIGHT OUT]**、および **[HEADPHONES]** から出力される全体の音量レベルを制御します。ほかのパネルコントロールと異なり、このノブの値は個別のプログラムにストアされません。Nord Grand 2 は常にこのノブが示す通りの音量で発音します。

ソフトボタン

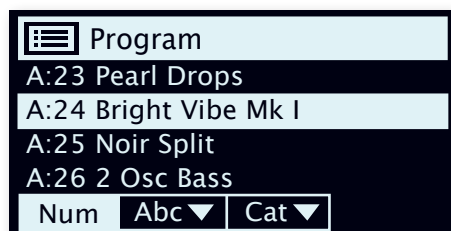
メニュー(*ページ)や Organize ビュー(*ページ)では、設定項目への見出しや、実行できるコマンドが、最多で 4 つ表示されます。これらの「ソフトボタン」には、**PROGRAM [2]~[5]** ボタンでアクセスします。たとえば下図の状況で **PROGRAM [2]** ボタンを押すと、Nord Grand 2 はプログラム A:24 に対する **Swap** 操作を受け付け、次の指示を待ちます。



プログラム

パネルの中央には、OLED ディスプレイを備えたプログラムセクションがあります。

プログラムには、Master Level を除くすべてのパラメーターの設定値が含まれます。Nord Grand 2 のプログラムメモリーは A~P の 16 バンクに分かれており、合計 576 個のプログラムを保存できます。



! 工場出荷時のプログラムの完全なセットは、nordkeyboards.com で入手できます。

プログラムを選ぶ

プログラムを選ぶ方法には次の 2 つがあります。

- ・ 6 つの **PROGRAM** ボタンのいずれかを押す。
- ・ **[PROGRAM]** ダイヤルを回す。

[PAGE ◀ / ▶] ボタンを押すと、プログラムを「ページ」単位で遷移できます。1 つのページには、6 つのプログラムが含まれます。

[SHIFT] + [BANK ◀ / ▶] を押すと、プログラムを「バンク」単位で遷移できます。1 つのバンクには、6 つのページが含まれます。

リストビュー

[PROGRAM] のようにリストアイコン (☰) をラベルに伴うダイヤルでは、便利なリストビューにアクセスできます。

- 1 **[SHIFT]** を押しながら **[PROGRAM]** ダイヤルを回すと、リストビューが開きます。
- 2 プログラムを遷移するには **[PROGRAM]** ダイヤルを回します。16 のバンク、すべてのプログラムにアクセスできます。
- 3 **Abc** ソフトボタンと **Cat** ソフトボタンをそれぞれ試してみましょう。Abc モードではプログラムは名前順でソートされ、Cat モードではプログラムはカテゴリー順でソートされます。
- 4 **[EXIT]** ボタンを押して、リストビューを閉じます。

💡 **[PIANO]** ダイヤルと **[SAMPLE]** ダイヤルでも、同様の手順でリストビューを使えます。

プログラムを編集する

プログラムを編集することは、ノブを回したりボタンを押したりして既存の設定を変更することの延長線上にある、簡単な操作です。実際にやってみましょう。

- 1 プログラム A:11 (あるいはいずれかのピアノ主体のもの) を選びます。

💡 ピアノに関するコントロールはパネルの左側に配されています。選択中のピアノサウンドの名前はプログラムセクションの OLED ディスプレイに表示されます。

- 2 Nord Grand 2 では、それぞれのピアノサウンドを Grand や Upright といった「タイプ」別に分けて管理しています。何度か **[PIANO SELECT]** ボタンを押して、演奏したいタイプを選びます。

- 3 **PIANO SELECT [MODEL]** ダイヤルを回して、使うピアノサウンドを決めます。

💡 パネル上の何らかのパラメーターを変更するとプログラム番号の隣に「E」という記号が現れることに気づきましたか。これは、「プログラムが変更された (edited) もの、メモリーへのストア操作はまだ行われていない」、という状態を示します。ストア操作を行う前に別のプログラムを選ぶと、編集していた内容は失われてしまいます。

メモリープロテクションをオフにする

誤って元のプログラムを上書きしてしまうことを防ぐために、工場出荷時の Nord Grand 2 はメモリーが保護されています。メモリープロテクションは System メニューでオフにできます。

- 1 **[SHIFT] + [SYSTEM]** を押して、System メニューを開きます。
- 2 メモリープロテクションはメニューの 1 番目の項目です。もしディスプレイが別の設定項目を示している場合は、Memory Protect のページに遷移するまで **[PAGE ◀]** ボタンを押します。
- 3 **[PROGRAM]** ダイヤルを回して、「Off」に設定します。
- 4 **[EXIT]** ボタンを押して、メニューを閉じます。

! ここで設定した内容は、次に変更されるまで永続的に保存されます。ほかのシステム設定も同様です。

ほかのメニュー項目については、「メニュー」(*ページ) をご参照ください。

プログラムをストアする

- 1 プログラムのストア操作を始めるには、ディスプレイの左側にある **[STORE]** ボタンを押します。
- 2 LED が点滅し、プログラムをどのロケーションにストアするかを尋ねるメッセージがディスプレイに表示されます。



- 3 編集したプログラムで現在のプログラムを上書きする場合は、単にもう一度 **[STORE]** ボタンを押します。

💡 このとき選択したプログラムが一時的にロードされ、新しいサウンドで上書きする前に試奏することができます。

- 4 **[PROGRAM]** ダイヤルや **PROGRAM** ボタン、**[PAGE ◀ / ▶]** ボタンを使うと、保存先を指定できます。もう一度 **[STORE]** ボタンを押すと、プログラムは指定したロケーションにストアされます。

! ストア操作を中止するには、**[EXIT]** ボタンを押します。

ストア操作や、プログラムへ名前を付ける方法の詳細については、「プログラムセクション」(*ページ) をご参照ください。

ライブモード

6つのライブプログラムでは、ほかのプログラムとは異なり、すべての編集が即座に保存されます。手動でストア操作を行う必要はありません。

- 1 6つのライブプログラムを選択するには、**[LIVE MODE]** を押してから **PROGRAM [1]~[6]** ボタンを使います。
- 2 エフェクトをオン/オフするなど、何らかの変更を加えます。
- 3 別のプログラムを選択してから、先ほど編集したライブプログラムに戻ります。
- 4 編集が自動で保存されていることを確認できたら、**[LIVE MODE]** ボタンをもう一度押してライブモードを終了します。

あるライブプログラムの設定を、通常のプログラムとして使いたいと考えた場合には、任意のプログラム番号に対してストア操作を行います。

反対に、ストア操作の Store Program To 画面で **[LIVE MODE]** ボタンを押すことで、ライブプログラムをストア先のロケーションに指定することもできます。元が通常のプログラムであっても、ライブプログラムとしてストアされてからは、すべての編集が即座に保存されるようになります。

エフェクトをかける

グランドピアノにリバーブとディレイを加えてみましょう。

- 1 A:11 White Grand またはグランドピアノに基づくいずれかのプログラムを選択します。
- 2 **GLOBAL REVERB [ON]** ボタンを押して、リバーブをオンにします。
- 3 **[DRY/WET]** ノブでバランスを調整します。
- 4 **DELAY [ON]** ボタンを押して、ディレイをオンにします。
- 5 **[TEMPO]**、**[FEEDBACK]**、**[FB FILTER]**、および **[DRY/WET]** の各コントロールを使って、ディレイの質感やかかり具合を変更します。

サンプルシンセをレイヤーする

「エフェクトを使う」で作成したピアノサウンドに、ストリングスを重ねてみましょう。

- 6 **SAMPLE SYNTH [LAYER A]** ボタンを押して、オンにします。
 - 7 **[CATEGORY]** ダイアルを回して、Strings Ensemble カテゴリーを選択します。カテゴリーはアルファベット順に並んでいます。
- ☞ **[SHIFT]** を押しながら **[CATEGORY]** ダイアルを回すと、リストビューが開きます。リストビューを使うと、そのカテゴリー内のすべてのサウンドが表示されます。
- 8 **[SAMPLE]** ダイアルを回して、カテゴリーの中からサウンドを選択します。サンプルの名前はディスプレイ下部に表示されます。
 - 9 **[LAYER A]** フェーダーを使って、ピアノとストリングスの音量バランスを整えます。

サンプルがロードされると、エンベロープやダイナミクスといったサンプルシンセの設定もサンプルが持つプリセット値に初期化されます。これらのパラメーターは、お好みに応じてさらに手動で調整できます。サンプルシンセセクションのコントロールについては、「サンプルシンセ」(19 ページ) をご参照ください。

2つのピアノをレイヤーする

同じセクションのレイヤーを2つ同時に鳴らしてみましょう。

☞ (訳注) このチュートリアルを実践する前に、A:11 White Grand を選んでおく、または **[SHIFT] + [PROG INIT]** でプログラムを初期化しておくことをおすすめします。

- 1 **PIANO [LAYER A]** ボタンと **PIANO [LAYER B]** ボタンを同時に押すと、2つのピアノがレイヤーされます。ここでいずれかのレイヤーボタンを押すと、編集の対象とするレイヤーが切り替わります (点滅する赤い LED で示されます)。ここでは **PIANO [LAYER B]** を押して、Piano B を編集の対象にします。
 - 2 **PIANO SELECT** コントロールを使って、どのピアノサウンドを Piano A に重ねるか選択します。たとえば、Piano A で選ばれているグランドピアノやアップライトピアノに対して、Piano B でエレクトリックピアノをレイヤーします。
 - 3 レベルフェーダーを使って2つのレイヤーのバランスを調整します。
- ❗ レイヤーをオフにするには、レイヤーボタンを長押しします。

2つのレイヤーにエフェクトをかける

「2つのピアノをレイヤーする」で作成したピアノサウンドを使って、エフェクトの使いこなし方を学びましょう。

- 4 **PIANO [LAYER A]** を押して、Piano A を編集の対象に選びます。
- 5 **FX FOCUS [PIANO A]** LED が点灯することに注目しましょう。この LED は、現在どのレイヤーのエフェクトを編集しているかを示します。
- 6 リバーブをオンにして、**[SHIFT] + [LAYER SEND]** を押します。レイヤーごとに異なるセンド量を設定できるようになります。
- 7 セクターで **HALL** リバーブを選び、**[DRY/WET]** ノブを左に回して Piano A のセンド量を少なめに設定します。
- 8 **PIANO [LAYER B]** を押して Piano B を選び、**[DRY/WET]** ノブを右に回してセンド量を多めに設定します。これで、「ドライ」な Piano A とアンビエンスに満ちた Piano B のレイヤーサウンドができました。
- 9 Piano A の編集と Piano B の編集とを行き来しながら、エフェクトのタイプや設定をさまざまに変更してみましょう。

スプリットを組む

2つのレイヤーによるかんたんなスプリット構成を組んでみましょう。

- 1 ピアノとサンプルシンセ、それぞれ1つのレイヤーがオンになっていることを確認します。
- 2 **SPLIT [ON/SET ▼]** ボタンを押して、スプリット機能をオンにします。
- 3 スプリットポジションを調整するには、**SPLIT [ON/SET ▼]** ボタンを長押しして Keyboard Split — Split Position メニューを開き、**[PROGRAM]** ダイアルを回します。スプリットポジションは、鍵盤の上の LED で示されます。

KEYBOARD SPLIT

Split Position
C4

- 4 **[SHIFT] + PIANO [KB ZONE]** を何度か押して、ピアノレイヤーを **LO** に設定します。**[SHIFT] + SAMPLE SYNTH [KB ZONE]** を何度か押して、サンプルシンセレイヤーを **HI** に設定します。これで、左側にピアノ、右側にサンプルシンセを備えたスプリットができました。

[OCTAVE SHIFT ◀ / ▶] コントロールを使えば、各レイヤーで必要なぶんだけピッチをシフトできます。

- 💡 **[KB ZONE]** コントロールで **LO** と **UP** の両方をオンにすると、そのレイヤーはスプリットポジションの左右を問わず鍵盤全域で発音します。

スプリットにクロスフェードを適用する

最後のステップとして、ピアノからサンプルシンセへとサウンドが徐々に切り替わるようにしてみましょう。

- 5 **[SHIFT] + [X-FADE]** を 2 回押して、**X-FADE** を **2** に設定します。

この設定でスプリットポジション付近を弾くと、左側のサウンドと右側のサウンドが「クロスフェード」します。

X-FADE が **2** の場合、鍵盤の上の LED は赤く点灯し、それぞれのサウンドはスプリットポジションの上下 12 半音を終端として、緩慢なカーブを描いてクロスフェードします。

X-FADE が **1** の場合、鍵盤の上の LED は黄色に点灯し、それぞれのサウンドはスプリットポジションの上下 6 半音を終端として、急峻なカーブを描いてクロスフェードします。

X-FADE がオフの場合、鍵盤の上の LED は緑に点灯します。

4 ピアノ



レイヤーのオン/オフとレベルの調整

ピアノセクションは、いずれかのレイヤーの **[ON/OFF ▼]** ボタンを押すことでオンにできます。レベルフェーダーでそれぞれのピアノレイヤーの出力レベルを調整します。

レイヤーボタンとエフェクトフォーカス

ピアノセクションには A と B、2 つのレイヤーがあります。もう片方のレイヤーも一緒にオンにするには、両方のレイヤーボタンを同時に押します。レイヤーをオフにするには、そのボタンを長押しします。

あるレイヤーから別のレイヤーに切り替えるには、切り替える先のレイヤーボタンを押します。両方のレイヤーがアクティブになっているとき、そのうちどちらがフォーカスされているのかがレイヤーボタン上部の LED の点滅によって示されます。

レイヤーボタンを押すとエフェクトセクションでもピアノがフォーカスされます。エフェクトフォーカスの状況は、エフェクトセクションにある **FX FOCUS LED** の点灯によっても示されます。

キーボードゾーン

[SHIFT] + [KB ZONE] を押すと、フォーカスされているピアノレイヤーをアクティブなキーボードゾーンのいずれかに割り当てることができます。レイヤーがどのゾーンに割り当てられているのかが **LO** と **UP**、2 つの緑色の LED によって示されます。スプリットの設定方法とキーボードゾーンの割り当ての詳細については、「スプリット」(※ページ) をご参照ください。

オクターブシフト

[OCTAVE SHIFT ◀ / ▶] を押すと、ピアノレイヤーの音域をオクターブ単位でシフトします。ピアノレイヤーが鍵盤全体に割り当てられている場合は、1 オクターブ上下にシフトできます。ピアノレイヤーが狭いゾーンに割り当てられている場合は、利用可能なシフト幅が変わります。どちらの場合も、常にピアノの全音域にアクセスできます。

サステインペダルとボリュームペダル

[SHIFT] + [SUST PED] を押すと、フォーカスされているピアノレイヤーに対してサステインペダルが有効になります。ペダルの接続と設定の方法については、「Pedal メニュー」(※ページ) をご参照ください。

[SHIFT] + [VOL PED] を押すと、フォーカスされているピアノレイヤーに対してボリュームペダルが有効になります。ボリュームペダルを使っているときにも、LED フェーダーはレイヤーの最大音量レベルを設定するコントロールとして、引き続き有効です。

ピアノサウンドについて

Nord Grand 2 のピアノは 6 つのタイプに分類されます。各タイプは複数のモデルを持つことができます。新しいピアノサウンドは Nord Sound Manager を使用することで、Nord Grand 2 に追加できます。

Nord Grand 2 にはピアノサウンド用に 2 GB の内蔵メモリーが搭載されています。すべてのタイプに対し厳選されたピアノコレクションが収録されているため、箱から出してすぐにこれらを楽しむことができます。開発にあたっては、レスポンスやサウンドの微妙なニュアンスを捉えてオリジナルのモデルに可能な限り近づくべく、多大な努力が払われました。各ピアノは膨大なペロシティレベルでサンプリングされています。すべてのピアノモデルがオーセンティックなサウンドと感触を持つ理由のひとつは、このことにあります。

■ Nord Sound Manager を使用してピアノサウンドを Nord Grand 2 内へダウンロードすると、対応するタイプに自動的に配置されます。

プログラムが現在 Nord Grand 2 内へダウンロードされていないピアノを参照している場合、タイプ LED が点滅し、ディスプレイには「Piano not found」と表示されます。この問題が発生した場合は、選択されている(またはその他の)タイプから別のモデルを探して代用する、Nord Sound Manager を使用して不足しているモデルを Nord Grand 2 内へダウンロードする、のいずれかを行いましょ。

Nord Piano Library のファイルサイズについて

Nord Piano Library のサウンドは、最も多い場合、4つの異なるファイルサイズで提供されています。グランドピアノとアップライトピアノにおける、サイズによる機能の違いを以下に示します。

	Sml	Med	Lrg	XL
詳細なペロシティマッピング	✓	✓	✓	✓
中音域のペダルストリングレゾナンス		✓		
全音域のペダルストリングレゾナンス			✓	✓
フルマッピング				✓

スモール (Sml) では、ペダルダウン時のストリングレゾナンスを含まないなど、ピアノメモリーの使用を最小限に抑えています。

ミディアム (Med) では、重要な中音域に限り、ペダルダウン時のストリングレゾナンスを含めています。

ラージ (Lrg) では、全音域にわたり、ペダルダウン時のストリングレゾナンスを含めています。

多くのピアノモデルではエクストララージ (XL) 版が利用可能です。XL ライブラリーでは鍵盤全体に「フルマッピング」されており、キーひとつひとつにオリジナルと同じ手触りをもたらします。したがって、サイズもきわめて大きくなります。

☞ (訳注) 「ペダルダウン時のストリングレゾナンス」は「ダンパーレゾナンス」と呼ばれることもあります。Med ライブラリーの説明における「中音域」とは、中央八を中心として上下におよそ2オクターブずつの範囲です。

ピアノサウンドを選ぶ

[PIANO SELECT] セレクターを押して、ピアノサウンドのタイプまたはカテゴリーを選びます。すべてのピアノサウンドは次の6種類に分類されます。

タイプ	説明
Grand	アコースティックおよびエレクトリックのグランドピアノ
Upright	アップライトピアノ
Electric	Tine と Reed に基づくエレクトリックピアノ
Clav	クラビネットとハーブシコード
Digital	デジタルサウンドおよびレイヤーピアノ
Misc	その他のサウンド

PIANO SELECT [MODEL] ダイアルを使用して、先ほど選択したタイプの中から適当なピアノサウンドを選びます。**PIANO SELECT LED** は、現在選択されているピアノモデルのタイプを示します。プログラムビューモード (※ページを参照) によっては、選択したモデルの名前がプログラムエリアのディスプレイに表示されます。



▶ Pearl Upright M
EP2 Ideal Timbre L

クラビネットについて

オリジナルのクラビネット D6 では、いくつかのロッカースイッチを押すことでさまざまなピックアップの組み合わせを選べました。Nord Grand 2 ではこの機能を忠実にシミュレートしており、オリジナルのクラビネット D6 同様にピックアップの組み合わせを選べます。

ピックアップの種類

- Clav モデル A: 「ネック」側のピックアップのみを使います。暖かく、少し暗いサウンドです。
- Clav モデル B: 「ブリッジ」側のピックアップのみを使います。明るいサウンドです。
- Clav モデル C: 両方のピックアップを同相で使います。ふくよかなサウンドです。
- Clav モデル D: 両方のピックアップを 180 度逆相で使います。基音がほとんど打ち消された、線の細いサウンドになります。

💡 クラビネットにはオリジナルの EQ オプションに由来した、固有のピアノティンバー設定が用意されています。詳しくは※ページをご参照ください。

リストビュー

[SHIFT] を押しながら **PIANO SELECT [MODEL]** を回せば、ピアノサウンドをリストビューで検索することができます。

画面の最上段には現在のタイプ名 (この例では「Grand」)、タイプに含まれるモデルの総数 (この例では 9)、および現在選択されているモデルのインデックス番号 (この例では 3) が表示されます。

🔊 Piano	Grand	3/8
White Grand		XL
Royal Grand 3D		XL
Soft Grand		L
Velvet Grand		L
Grand Imperial		L

リストビューでは、ハイライトで示された現在選択されているモデルと、その前後のモデルが表示されます。

キーボードタッチ



Nord Piano Library のピアノはその多くが非常に広いダイナミックレンジを持っています。好みや演奏上の要求に応じて、このレスポンスは調整することができます。

HEAVY では、ソフトかつ表情豊かな演奏に向けた重めのピアノアクションになります。**[KB TOUCH]** を押して **MEDIUM** や **LIGHT** を選ぶと、軽いタッチでラウドな演奏ができるようになります。

ダイナミックコンプレッション

[DYN COMP] ボタンでアクセスできる「ダイナミックコンプレッション」は、ピアノサウンドの最小レベルを「底上げ」し、ダイナミックレンジを減らす機能です。1~3 の3段階で設定でき、3 で最も圧縮率が高くなります。この機能は、非常にソフトに演奏したりダイナミックに演奏したりする場合でも聴き取りやすさを維持するのに役立ちます。音色のダイナミックレンジはそのまま残ります。

- エフェクトセクションの中にあるコンプレッサー (Comp)、すなわちサウンドのトランジェントに影響を与えるエフェクターとは異なり、ダイナミックコンプレッション機能はサウンドのキャラクターまででは変更しません。

アコースティクス

ソフトリリース



[SHIFT] + [KB TOUCH] で **SOFT REL** を有効にすると、アコースティックピアノのサウンドに、わずかに長い、控えめなリリース音が追加されます。これは、アコースティック楽器のダンパーのかかり具合を調整することと同じ効果です。追加されるリリース音は打鍵ごとに独立しており、演奏の抑場に対して動的に反応します。エレクトリックピアノでは、ソフトリリースを有効にした場合、逆にリリース音が大幅に減衰します。

- クラベネットやハーブシコードなど、いくつかのピアノタイプではソフトリリース機能はサポートされていません。

ストリングレゾナンス

[SHIFT] + [KB TOUCH] で有効にできる **STRING RES** 機能は 2 つの異なるコンポーネントからなります。

- Med, Lrg, XL サイズのグランドピアノとアップライトピアノに含まれ、サステインペダルが押し下げられたときに有効になる、専用の「ペダルダウンサンプル」。これらは実際にサステインペダルを踏みこんだ状態でサンプリングされており、オリジナルの楽器の自然なアンビエンスと音響を捉えています。
- シミュレートによるストリングレゾナンス。後から打鍵された音の周波数によって既に押さえられているキーの弦に生じる、基音もしくは倍音での共鳴です。

後者のストリングレゾナンスは Sound メニューで調整できます。*ページをご参照ください。

- Sml バージョンのグランドピアノ、アップライト、およびエレクトリックピアノのように、ストリングレゾナンスに対応していないピアノが選択されている場合、機能は無効になります。

ペダルノイズ



Nord Triple Pedal や Nord Single Pedal 2 など、対応するペダルが Nord Grand 2 に接続されている場合、[SHIFT] + [DYN COMP] で **PED NOISE** 機能が利用できます。ペダルノイズが有効にされると、アコースティックピアノやエレクトリックピアノのサステインペダルを踏んだときに発生する機構上のノイズが再現されます。ペダルノイズは、サステインペダルを踏み込む勢いにダイナミックに反応します。

ペダルノイズのレベルは Sound メニューで調整できます。*ページをご参照ください。

- 選択したピアノがペダルノイズに対応していない場合、機能は無効になります。

Nord Triple Pedal

Nord Grand 2 は Nord Triple Pedal (Nord TP-1) および Nord Triple Pedal 2 (Nord TP-2) に対応しています。Nord TP-2 は **TRIPLE PEDAL** と書かれた専用の端子を使って接続します。

- Nord Triple Pedal (Nord TP-1) は **SUSTAIN PEDAL** 端子に接続します。

Nord Triple Pedal は 1 つのユニットに 3 つのペダルを備えており、これを使うことで Nord Grand 2 のピアノセクション内の追加機能と、その他の多くの便利機能にアクセスすることができます。これらの設定については「Pedal メニュー」(*ページ)をご参照ください。

Nord TP-2 を専用端子に接続する場合、追加の設定は必要ありません。サステインペダル端子に接続するタイプのペダルの場合、Pedal メニューの Sustain Pedal Type 設定で、使用しているタイプまたはモデルが選ばれていることを確認してください。

- Nord TP-1 と TP-2 の両方が Nord Stage 4 に接続されている場合、TP-1 の左側と中央のペダルは機能しなくなります。ペダルメニューにおいても、「Sustain Only」と表示されます。

サステインとハーフペダル

右側のペダルは常にサステインペダルとして機能します。Nord Triple Pedal では Nord Sustain Pedal 2 (Nord SP-2) と同様に、ペダルを半分まで踏み込む「ハーフペダル」テクニックを使えます。この場合、(仮想)ダンパーは半分だけ上がった状態となり、離鍵後の音の立ち下がりが緩やかなものになります。

ソステヌート

デフォルトでは、Nord Triple Pedal の中央のペダルはソステヌートペダルとして機能します。ソステヌートペダルを使うと、他の音をそのままにしながら、特定の音だけを延ばすことができます。ペダルが踏まれた時点で押されていたキーは音が持続する一方、ペダルを踏んでいる間に新たに演奏された音は延ばされません。

- 中央のペダルには多数のオプション機能があります。詳しくは「Pedal メニュー」(*ページ)をご参照ください。

ソフトペダル

デフォルトでは、Nord Triple Pedal の左側のペダルはソフトペダルとして機能します。ソフトペダルはウナコルダとも呼ばれます。ソフトペダルを踏み込んでいる間は、演奏されるすべての音の音量がわずかに小さくなり、トーンも少し落ち着いたものになります。

- 左側のペダルにも多数のオプション機能があります。詳しくは「Pedal メニュー」(*ページ)をご参照ください。

ティンバー



[TIMBRE] セレクターを押すと、ピアノサウンドの周波数特性とキャラクターを素早く変更できます。

オプションとその効果は、ピアノサウンドに応じて、次のように変わります。

アコースティックピアノのティンバー設定

SOFT 設定は高周波成分を減衰させ、ローエンドを強調することにより、サウンドにしっとりとした質感をもたらします。

MID 設定では高音域と低音域はそれほど出さず、中域にフォーカスした「こもり」と目立つサウンドが得られます。

BRIGHT 設定は中高域を強調し、明るくきらびやかなサウンドを生み出します。

エレクトリックピアノのティンバー設定

エレクトリックピアノが選択されているときは、ティンバー設定もこれらのサウンドに合わせて特別に調整されます。

SOFT 設定は高域と「ベルっぽさ」を削り、サウンドのくっきりとパンチのある部分を残します。

MID 設定は中高域をブーストし、サウンドに鋭い存在感を加えます。

BRIGHT 設定は中音域をブーストしてきらびやかさとトレブル感を増すことで、ピアノサウンドに存在感と鮮やかさを与えます。

DYNO 1 と **DYNO 2** はどちらも、70年代から80年代初頭にかけて流行した、Tine ベースのエレクトリックピアノに対するカスタムのプリアンプとEQに基づいた設定です。どちらの設定も、エレクトリックピアノ本来の「ベル」サウンドを大幅に強化します。特に Dyno 2 セットアップでは低域もブーストされた、「ドンシャリ」サウンドが得られます。

クラビネットの設定

オリジナルのクラビネットは4つのロックスイッチで内蔵EQをコントロールしていました。これらのスイッチによって生まれる組み合わせのほとんどが、Nord Stage 4でも利用可能です。

選べる設定は次の通りです。

- ・ Soft
- ・ Treble
- ・ Soft+Treble
- ・ Brilliant
- ・ Soft+Brilliant
- ・ Treble+Brilliant
- ・ Soft+Treble+Brilliant

ユニゾン



UNISON 機能は隣接するキーからトランスポートして作られたボイスを使用して、ステレオユニゾン効果を生み出します。これは、エレクトリックピアノなどのモノラルソースをステレオに広げたり、アコースティックピアノにコーラスのようなきらめきを追加したりするために使えます。最も強い設定ではより大きくデチューンがかかります。ユニゾンには微妙なステレオ効果から明らかなデチューニングまで **1**、**2**、**3** の3つの異なる度合いがあります。

ライブラリーの情報を確認する

[SHIFT] + [INFO] を押すと、バージョン番号や正確なサイズといった、現在選択されているモデルに関するいくつかの追加情報が表示されます。

5 サンプルシンセ



レイヤーのオン/オフとレベルの調整

サンプルシンセセクションは、いずれかのレイヤーの **[ON/OFF ▼]** ボタンを押すことでオンにできます。レベルフェーダーでそれぞれのピアノレイヤーの出力レベルを調整します。

レイヤーボタンとエフェクトフォーカス

ピアノセクションには A と B、2 つのレイヤーがあります。もう片方のレイヤーも一緒にオンにするには、両方のレイヤーボタンを同時に押します。レイヤーをオフにするには、そのボタンを長押しします。

あるレイヤーから別のレイヤーに切り替えるには、切り替える先のレイヤーボタンを押します。両方のレイヤーがアクティブになっているとき、そのうちどちらがフォーカスされているのかがレイヤーボタン上部の LED の点滅によって示されます。

レイヤーボタンを押すとエフェクトセクションでもピアノがフォーカスされます。エフェクトフォーカスの状況は、エフェクトセクションにある **FX FOCUS LED** の点灯によっても示されます。

キーボードゾーン

[SHIFT] + [KB ZONE] を押すと、フォーカスされているピアノレイヤーをアクティブなキーボードゾーンのいずれかに割り当てることができます。レイヤーがどのゾーンに割り当てられているのかが **LO** と **UP**、2 つの緑色の LED によって示されます。スプリットの設定方法とキーボードゾーンの割り当ての詳細については、「スプリット」(※ページ) をご参照ください。

オクターブシフト

[OCTAVE SHIFT ◀ / ▶] を押すと、ピアノレイヤーの音域をオクターブ単位でシフトします。ピアノレイヤーが鍵盤全体に割り当てられている場合は、1 オクターブ上下にシフトできます。ピアノレイヤーが狭いゾーンに割り当てられている場合は、利用可能なシフト幅が変わります。どちらの場合も、常にピアノの全音域にアクセスできます。

サステインペダルとボリュームペダル

[SHIFT] + [SUST PED] を押すと、フォーカスされているピアノレイヤーに対してサステインペダルが有効になります。ペダルの接続と設定の方法については、「Pedal メニュー」(※ページ) をご参照ください。

[SHIFT] + [VOL PED] を押すと、フォーカスされているピアノレイヤーに対してボリュームペダルが有効になります。ボリュームペダルを使っているときにも、LED フェーダーはレイヤーの最大音量レベルを設定するコントロールとして、引き続き有効です。

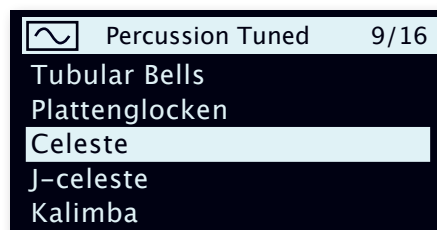
サンプルインストゥルメントを選択する

[CATEGORY] ダイアルは、カテゴリーの選択に使います。ダイアルを回すと、ディスプレイにヒントが表示されます。

[SAMPLE] ダイアルを使って、カテゴリーの中からサンプルインストゥルメントを選択します。ディスプレイにはサンプルごとのロケーション番号と名前が表示されます。

リストビュー

[SHIFT] を押しながら **[CATEGORY]** ダイアルや **[SAMPLE]** ダイアルを回すと、サンプルインストゥルメントの選択にリストビューを使えます。



サンプルインストゥルメントの音作り

Nord Grand 2 には、ロードしたサンプルインストゥルメントのサウンドやふるまいを微調整するさまざまな手段が用意されています。それぞれのサンプルインストゥルメントには、いくつかのパラメーターに対するプリセット値が保存されており、これらはサンプルインストゥルメントが選択されたときに自動的にロードされます。すべてのパラメーターは、手動で調整することもできます。

ダイナミクス

[DYNAMICS] ボタンを押すと、サンプルインストゥルメントのペロシティレスポンスが変化します。

ダイナミクスには、**1**、**2**、**3** の設定があります。数を大きくするほど、サウンドはより広いダイナミックレンジを持つようになります。設定をオフにすると、フィルターのパリセット値を含む、すべてのパラメーターのペロシティ制御が非アクティブになります。

エンベロープ

[ATTACK] と **[DECAY/RELEASE]**、2 つのノブを使うことで、エンベロープつまりサウンドの時間経過に伴う音量の変化を設定できます。

[ATTACK] ノブは、最大レベルに達するまでの時間をコントロールします。

[DECAY/RELEASE] ノブを中央より左に回すと、サウンドはディケイモードになり、ノブはキーを押し下げたままにするときの減衰時間をコントロールするようになります。

[DECAY/RELEASE] ノブを中央より右に回すと、サウンドはリリースモードになり、ノブはキーを放した後の減衰時間をコントロールするようになります。

[DECAY/RELEASE] ノブで中央を指すと、サウンドはサステインモードになり、キーを押し下げたままにする限り減衰することなく発音を続けるようになります。

ティンバー

[SHIFT] を押しながら **[DYNAMICS]** ボタンを押すと、ティンバー設定が変化します。

BRIGHT 設定では、サンプルインストゥルメントの高周波成分を強調させるカスタムフィルターがアクティブになります。レイヤー構成などでサウンドにキレを与えたいときに便利です。

SOFT 設定では、サンプルインストゥルメントの高周波成分を減衰させるカスタムフィルターがアクティブになります。明るすぎるサウンドを抑えたいときに役立ちます。

モノ/レガート

モノ (**MONO**) モードおよびレガート (**LEGATO**) モードでは、従来のモノフォニックシンセサイザーと同様に、一度に 1 つの音のみを発音します。2 つのモードの主な違いは、レガート演奏時、つまり演奏中に後から別の打鍵が生じた場合のエンベロープのふるまいにあります。

モノモードではディケイやリリースに入った場合、エンベロープは前の音と同じくアタックから再生します。レガートモードでは、レガートで演奏し続ける限り、ディケイポイントに到達してもエンベロープはアタックフェイズに戻りません。

もうひとつの違いは、レガートモードではレガートで演奏する場合にのみグライドが有効になることです。つまり、レガートモードでグライド効果を得るには、前のキーを放す前に新しいキーを押す必要があります。

MONO と **LEGATO** の LED がいずれも点灯していない場合は、そのシンセレイヤーはデフォルト通りポリフォニックで発音します。

グライド

グライド (**GLIDE**) をアクティブにすると、先に弾いた音から後に弾いた音へピッチを滑らかに「グライド」させます（一般的には「ポルタメント」とも呼ばれます）。グライド機能はモノモードとレガートモードでのみ使用できます。グライドのピッチ変化の特性は「固定レート」と表現できます。これは、2 つの音の音程が離れるほど、グライドにかかる時間が長くなることを意味します。

グライドには、**1**、**2**、**3** の設定があります。数を大きくするほど、グライドにかかる時間が増加します。

ユニゾン

ユニゾン (**UNISON**) 機能はアンサンプルのようなサウンドを生成します。これは、隣接するサンプルをもとに、わずかにデチューンしながらステレオにパンニングしたものを複数組み合わせることで実現されています。

ユニゾンには、**1**、**2**、**3** の設定があります。数を大きくするほど、デチューンの幅とステレオの拡がりが増加します。

ビブラート

[VIBRATO] ボタンを押すことに、ビブラート設定が切り替わります。

ON 設定では、ビブラートは打鍵した瞬間からかかります。

DLY (delay) 設定では、ビブラートは打鍵して一定の時間を経過してからかかります。ディレイタイムは **RATE/AMT** メニューで設定します。

PEDAL 設定では、ビブラートをかけるかどうかは Nord Grand 2 に接続したペダルでコントロールされます。これには Nord Triple Pedal の左側のペダルと中央のペダル、および **FOOT SWITCH** 端子に接続したペダルを使用できます。この機能の詳しい使い方については、「Pedal メニュー」(※ページ) をご参照ください。

ビブラートメニュー

[SHIFT] + [RATE/AMT] を押すと、ビブラートの周期 (**Rate**)、強さ (**Amount**)、およびディレイタイム (**Delay**) を設定する Vibrato メニューが表示されます。それぞれのパラメーターには、画面下部のラベルに対応する **PROGRAM** ボタンを押すことでアクセスできます。

Rate オプションは 2 Hz から 8 Hz まで、**Amount** オプションは 0 から 10 まで、**Delay** オプションは 0.2 s から 2.0 s までの間で設定できます。

! サンプルインストゥルメントをロードするときには、**Vibrato Rate** パラメーターと **Vibrato Amount** パラメーターについても、保存されたプリセット値が復元されます。

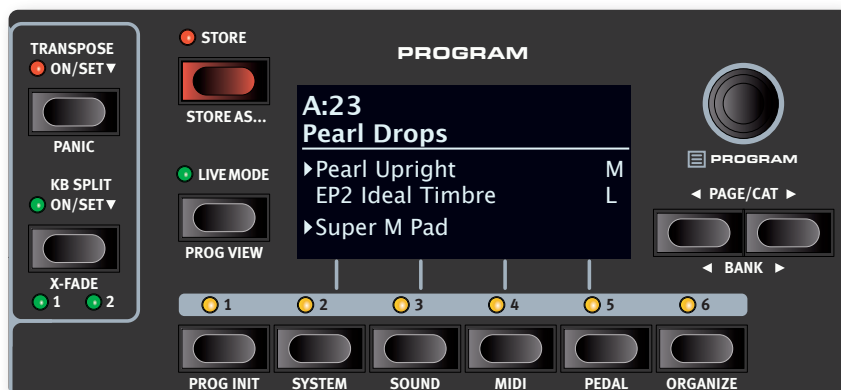
ビブラートボタン



フロントパネル左端にある **[VIBRATO]** ボタンを押すと、Vibrato メニューの設定に基づくビブラートを、手動でリアルタイムにかけることができます。

[SHIFT] + [ENABLE] を押すと、この機能を使うかどうかをレイヤーごとにオン/オフできます。スプリット構成などで単一のレイヤーでのみビブラートボタンを使いたい場合に便利です。

6 プログラム



フロントパネルの中央に位置するプログラムセクションは、プログラムのロードとストア、ライブモード、キーボードスプリット機能といった、パフォーマンスにまつわるさまざまな機能へのアクセスを提供します。

ここにはシステム、サウンド、MIDI、およびその他の設定を行うためのさまざまなメニューもあります。メニューとその設定の詳細については、「メニュー」(★ページ)をご参照ください。

トランスポーズ



Nord Grand 2 は、プログラムごとに ± 6 半音の範囲、半音刻みでトランスポーズできます。トランスポーズを適用するには、**TRANSPOSE [ON/SET ▼]** ボタンを長押しして Transpose メニューを開き、**[PROGRAM]** ダイアルを回します。トランスポーズを非アクティブにするには、ボタンをもう一度押します。

トランスポーズ設定はプログラムの一部としてロード/ストアされ、常にプログラムのすべてのレイヤーに影響します。

💡 どのプログラムを選んでいるときにも同じトランスポーズを適用したい場合には、System メニューの *Global Transpose* 設定を使用します。

パニック

[SHIFT] + [PANIC] を押すと、音源の内部に「オールノートオフ」MIDI メッセージが送られ、サステインペダルがリセットされます。これは、MIDI パフォーマンスやライブパフォーマンスの途中で音が止まらなくなった場合、またはほかの理由ですべてのサウンドをすぐに止める必要が生じた場合に使用できます。

キーボードスプリット



Nord Grand 2 の鍵盤は 2 つのゾーンに分割し、それぞれのピアノレイヤーとサンプルシンセレイヤーを自由に割り当てることができます。これにより、さまざまなレイヤーサウンドおよびスプリットサウンドを組むことができます。

キーボードスプリット設定

KB SPLIT [ON/SET ▼] ボタンを押すと、スプリット機能がアクティブになります。ボタンを長押しすると Keyboard Split – Split Position メニューが開きます。

スプリットポジションを調整する

[PROGRAM] ダイアルを回すと、10 か所あるスプリットポジションのうちどれを使うかを選べます。スプリットポジションは、鍵盤の上の LED で示されます。

KEYBOARD SPLIT

Split Position
C4

スプリットにクロスフェードを適用する

通常、2 つのキーボードゾーンは完全に分断されており、それぞれのゾーンのサウンドが重なることはありません。X-Fade (cross-fade) 設定をアクティブにすると、スプリットポジション付近でそれぞれのゾーンのサウンドがミックスないし「クロスフェード」され、ポジションをまたいだ演奏がよりスムーズになります。

[SHIFT] + [X-FADE] を押すことに、X-Fade 設定が切り替わります。

オフの場合、クロスフェードは行われません。

- 1 設定の場合、スプリットポジションから ± 6 半音の範囲でクロスフェードします。左側のサウンドはポジションより高い 6 半音、右側のサウンドはポジションより低い 6 半音にわたってフェードアウトします。
- 2 設定の場合、スプリットポジションから ± 12 半音の範囲でクロスフェードします。

ストア



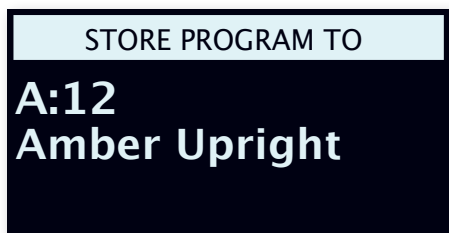
[STORE] ボタンは、編集したプログラムをプログラムバンクにストアするときに使用します。プログラムをストアすると、選択したロケーションにある既存のデータが上書きされます。

- 1 工場から出荷されたばかりの Nord Grand 2 は、プログラムが誤って上書きされることを避けるためにメモリーに保護をかけられています。プログラムをストアできるようにするには、System メニューで Memory Protection 設定をオフにする必要があります。詳しくは「System メニュー」(※ページ) をご参照ください。

プログラムをストアする

プログラムまたはプリセットを名前を変更せずにストアするには、次の手順を実行します。

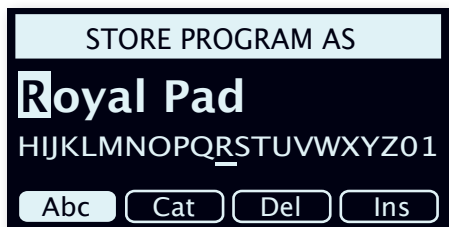
- 1 **[STORE]** ボタンを 1 回押します。LED が点滅し始め、ディスプレイにプログラムの名前とその場所が表示されます。



- 2 **[PROGRAM]** ダイヤルと **[PAGE < / >]** ボタンのどちらか、あるいは両方を使用して、ストア先のロケーションを選択します。
- 1 スタ操作をキャンセルするには、**[EXIT]** ボタンを押します。
- 3 もう一度 **[STORE]** を押して操作を完了します。

名前を付けてストアする

- 1 プログラムに名前を付けてストアするには、**[SHIFT] + [STORE AS...]** を押します。
- 2 **ABC** ソフトボタンを押し続ける間、英数字の行が表示されます。その間にダイヤルを回すと、現在の位置の文字を選択できます。ボタンを放すとカーソルが次の位置に移動します。ダイヤルまたは **[PAGE < / >]** ボタンを使って、カーソルを自由に移動できます。**Ins** ソフトボタンは現在位置に空白を挿入するため、**Del** ソフトボタンは現在選択されている文字を削除するために使用します。



- 3 プログラムをカテゴリーに分類しておく、後から検索する際に便利です。**Cat** ソフトボタンを押して、リストからカテゴリーの 1 つを選択します。
- 4 **[STORE]** ボタンを押すと、Store Program To 画面が表示されます。**[PROGRAM]** ダイヤルと **[PAGE < / >]** ボタンのどちらか、あるいは両方を使用して、ストア先のロケーションを選択します。
- 5 もう一度 **[STORE]** を押して操作を完了します。

🔍 Nord Sound Manager でもプログラムに名前を付けることができます。

シフトボタン



多くのボタンといくつかのノブには、**[SHIFT]** キーを押しながらボタンを押したりノブを回したりすることでアクセスできる二次機能があります。シフト機能がある場合、対応するボタンやノブの下にはその機能の名前が印刷されています。たとえば、**[SHIFT]** を押しながら **PROGRAM [3]** ボタンを押すと、Sound メニューが開きます。

[SHIFT] ボタンは **[EXIT]** ボタンとして、メニューを閉じたりストア操作をキャンセルしたりするときにも使用します。

ライブモード



Nord Grand 2 には、アクセスしやすい「ライブプログラム」用のロケーションが 8 つあります。ライブプログラムは、他のプログラムとは異なり、編集内容が自動的に保存されます。ライブプログラムを終了したり、Nord Grand 2 の電源をオフにしたりしても、すべての編集内容が保存されます。手動で保存操作を行う必要はありません。ライブプログラムを選択するには、**[LIVE MODE]** を押してから、**PROGRAM [1]~[8]** のいずれかのボタンを押します。

ライブプログラムは必要に応じて、ライブプログラム用の 8 つから離れ、レギュラープログラムバンクの適当なロケーションを選んでストアすることができます。反対に、レギュラープログラムをライブプログラムのロケーションにストアすることもできます。

プログラムビュー

[SHIFT] + [PROG VIEW] を押すごとに、ディスプレイの表示モードが切り替わります。デフォルトではプログラム名と番号のみが表示され、ディスプレイの下半分はパネルを操作したときヒントを表示するために確保されたままとなります。

もう 1 つの表示モードでは、プログラム名と番号は小さく表示され、ディスプレイの下半分はそれぞれのレイヤーで選択されているサウンド名を表示するために使われます。この場合でもパネルを操作したときのヒントは通常通り表示されます。

プログラムボタン

6つのプログラム（PROGRAM）ボタンを使用すると、現在のプログラムバンク内の6つのプログラムへ即座にアクセスできます。2から5までのプログラムボタンは、メニューや設定の項目を選ぶソフトボタンとしても使用します。ソフトボタンの機能についての詳細は*ページをご参照ください。

プログラムとは

プログラムには、どのピアノサウンドを使っているか、どのサンプルサウンドを使っているかといった参照情報や、パネルで操作できるうちマスターレベルを除くほとんどすべての設定が含まれます。Systemメニュー、Soundメニュー、MIDIメニュー、および Pedal メニューの設定は、プログラムに含まれません。

メニュー

[SHIFT] を押しながら PROGRAM [2] を押すと System メニュー、[SHIFT] を押しながら PROGRAM [3] を押すと Sound メニュー、[SHIFT] を押しながら PROGRAM [4] を押すと MIDI メニュー、[SHIFT] を押しながら PROGRAM [5] を押すと Pedal メニューが開きます。メニューとすべての設定については「メニュー」（*ページ）をご参照ください。

プログラムダイアル

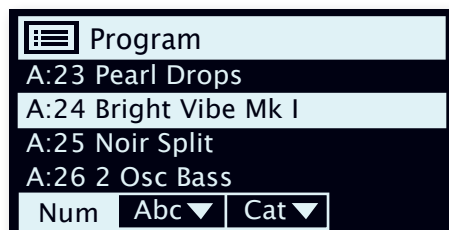


プログラム（PROGRAM）ダイアルは主にプログラムの選択に使います。また、パラメーターの値を設定したり、プログラム名を入力するときに文字を選んだりするときにも使います。[SHIFT] を押しながらダイアルを回すと、プログラムリストが開きます。

プログラムリストとソート

デフォルトの Num ソートが選ばれている場合、プログラムは番号順で表示されます。Abc ソフトボタンを押すと名前順、Cat ソフトボタンを押すとカテゴリ別での表示になります。

特定の頭文字またはカテゴリを持つ最初のプログラムにジャンプするには、Abc ソフトボタンまたは Cat ソフトボタンを押しながらダイアルを回します。



選んだソートモードは記憶され、次にリストビューを開いたときに復元されます。

イニシャライズ

[SHIFT] + [PROG INIT] を押すと、プログラムを単一のピアノレイヤーのみの構成にイニシャライズできます。新しく音作りを始めるためすばやく初期状態に戻したいときに役立ちます。

プログラムを整頓する

プログラムの順序は、オーガナイズビューの2つの機能、Swap と Move で並べ替えることができます。

オーガナイズビューに入る

[SHIFT] + [ORGANIZE] を押すと、オーガナイズビューに入ります。

2つのプログラムを入れ替える

スワップ操作は2つのプログラムのロケーションを入れ替えます。

- 1 ダイアルを使用して、別のプログラムと交換したいプログラムを選択し、Swap を押します。
- 2 ダイアルを使用して交換先を選び、Ok を押すと、操作が完了します。Undo を押すと操作はキャンセルされます。

プログラムを移動する

- 1 ダイアルを使用して別のロケーションへ移動したいプログラムを選択し、Move を押します。
- 2 ダイアルを使用して移動先を選び、Ok を押すと、操作が完了します。Undo を押すと操作はキャンセルされます。

△ 移動するプログラムの現在の場所と移動先の場所の間にあるプログラムは1つずつ上または下にシフトされます。このため1つのページが含む内容も変わることにご注意してください。

! これらの操作は Nord Sound Manager で行うこともできます。

MIDI LED インジケーター

MIDI Nord Grand 2 が MIDI IN 端子や USB 接続を通じて MIDI メッセージを受信すると、[MASTER LEVEL] ノブの真下にある MIDI LED が点滅します。

7 エフェクト



概要

Nord Grand 2 ではピアノ A/B とシンセ A/B それぞれのレイヤーに個別のエフェクトチェーンを搭載しています。

唯一の例外はグローバルリバーブ（**GLOBAL REVERB**）エフェクトです。その名前が示す通り、プログラム内のすべてのレイヤーで共有されます。ただし、**[SHIFT] + [LAYER SEND]** を押して「レイヤーセンド」モードをアクティブにすると、ドライ/ウェット比をレイヤーごとに設定できるようになります。

エフェクトとグローバルモードのオン/オフ

エフェクトをアクティブにするには、それぞれのエフェクトの **[ON]** ボタンを押します。

イコライザー、コンプレッサー、およびディレイでは **[SHIFT] + [GLOBAL]** を押すことで、すべてのピアノレイヤーとサンプルシンセレイヤーの間で同じエフェクトの設定を共有するグローバルモードを使えます。グローバルモードにより揃えられたパラメーターは、モードをオフにしても手動で変更されるまでその値を維持します。

エフェクトフォーカスとエフェクトオフ

ピアノまたはサンプルシンセの **[ON]** ボタンを押すと、選んだレイヤーに応じて、レイヤーエフェクトセクションのフォーカスも自動的に追従します。



FX FOCUS [PIANO] ボタンまたは **[SYNTH]** ボタンを押して、特定のレイヤーを直接フォーカスしてエフェクトを編集することもできます。現在フォーカスされているレイヤーは、**FX FOCUS LED** で示されます。

[SHIFT] + [FX OFF] を押すと、すべてのエフェクトユニットが一斉にオフになります。新しく音作りを始めるときや、ドライ音のみでモニタリングする必要があるときに役立ちます。

モジュレーション 1

モジュレーション 1 (**MOD 1**) ユニットでは、6 種類の変調系エフェクトが提供されます。これらはセレクターボタンを使用して切り替えます。**[RATE]** ノブはモジュレーションの周期（速さ）、**[AMOUNT]** ノブはエフェクトの強さまたは深さのコントロールに使用します。



コントロールペダル

すべての Mod 1 エフェクトはエクスプレッションペダルによるコントロールに対応しています。操作に対応しているパラメーターは、トレモロとパンでは Amount、スピン、ワウ、リングモジュレーターでは Rate です。

エクスプレッションペダルを使うには、**CTRL/VOL PEDAL** 端子にエクスプレッションペダルを接続し、**[SHIFT] + [CTRLPED]** を押します。

トレモロ

トレモロ (**TREM**) は、出力信号のボリュームを連続的かつ周期的に変化させる変調です。トレモロはエレクトリックピアノで使用される非常に一般的なエフェクトです。

パン 1 & パン 2

パン 1 (**PAN 1**) は、ステレオパノラマの左と右の間で音像をスムーズに動かす、パンニングに対する自動変調です。

パン 2 (**PAN 2**) は、よりハードなパン波形を使った、クラシックなエレクトリックピアノの「ビブラート」のようなキャラクターを提供します。

スピン

スピン (**SPIN**) は回転するスピーカーのサウンドをエミュレートします。このエフェクトはあらゆる音源に動きを与えるのに便利です。回転の速度は **[RATE]** ノブで制御しますが、値を変更してもすぐには追従せず、回転の速度は徐々に上下します。

ワウ

ワウ (**WAH**) は、「ワカチコ」または「ゲコゲコ」などと形容される特徴的なサウンドをもたらすエフェクトです。エレクトリックピアノやクラビネットとの相性にすぐれています。

ワウの実体は、幅広い帯域にわたってフィルター周波数をスイープする、強いレゾナンスを持ったローパスフィルターの一種です。フィルター周波数は **MOD 1 [RATE]** ノブで調整できます。スイープ中には、フィルターの特性も変化します。

デフォルトでは、信号の振幅を自動で検出してフィルターのスイープ幅を調整します。このため、演奏の強弱に合わせたワウ効果が得られます。

📍 このエフェクトはコントロールペダルモードにすることで、従来のペダルワウとしても使えます。

リングモジュレーション

リングモジュレーション (**RM**) は、2つの信号を掛け合わせて、非整数倍音による「ベルのような」サウンドを生み出す、変調の一種です。Nord Grand 2 では、演奏したサウンドにサイン波を掛け合わせます。

[RATE] ノブはサイン波のピッチのコントロールに使用します。

モジュレーション 2

モジュレーション 2 (**MOD 2**) ユニットでは、フェイザー、フランジャー、のコーラス、パイプといった変調系エフェクトが提供されます。これらはセレクターボタンを使用して切り替えます。**[RATE]** ノブはモジュレーションの周期（速さ）、**[AMOUNT]** ノブはエフェクトの強さまたは深さのコントロールに使用します。



エフェクトをモノラル仕様で使う

デフォルトではすべての Mod 2 エフェクトがステレオ仕様です。**[SHIFT] + [MONO]** を押すと、モノラル仕様に変更されます。

フェイザー 1 & フェイザー 2

フェイザー (**PHASER**) は、エレクトリックピアノでたびたび使われる特徴的な「シュワシュワ」サウンドを生み出します。

Nord Grand 2 に搭載されているフェイザーのデジタルモデリングは、「Bi-Phase」や「Small Stone」といったクラシックなユニットに基づいています。

フランジャー

フランジャー (**FLANGER**) は、コムフィルター効果による、「ビューン」といった劇的なサウンドとレゾナンス特性を生み出します。

コーラス 1 & コーラス 2

コーラス 1 (**CHORUS 1**) は、オーディオ信号に、変調をかけたコピーを複数ブレンドするエフェクトです。サウンドを「拡げる」効果を得る以外にも、極端な設定で大幅なデチューンを作り出すなど、さまざまな使い方ができます。

コーラス 2 (**CHORUS 2**) は、ビンテージエフェクトペダルに基づいています。デフォルトのステレオモードでは（特に Rate と Amount を小さく設定した場合に、）豊かなステレオワイドニングを得られます。Rate と Amount を大きく設定したときには（特にモノラルモードと組み合わせた場合に、）独特のビブラート特性を得られます。

パイプ

パイプ (**VIBE**) はピッチベンドとフェイザーの両方の特性を持つサウンドを生み出します。これはクラシックなフットペダルエフェクトに基づいており、一般的なフェイザーと異なり多段で配置された、一連のフェイジングフィルターをモデリングしています。

ディレイ

ディレイ (**DELAY**) ユニットはエコー/リピートの効果を生み出します。ディレイタイムは **TEMPO [TAP/SET ▼]** ボタンをタップする、またはボタンを長押ししてから **[PROGRAM]** ダイアルを回すことで設定します。



[FEEDBACK] ノブはディレイのリピート数、タップ数をコントロールします。最小の設定ではタップが1つだけ聞こえ、最大の設定では非常に長いフィードバックテールを形作ります。

[DRY/WET] ノブは、ドライな信号とディレイの繰り返しとのバランスを調整します。

ディレイを **GLOBAL** モードに設定すると、すべてのレイヤーに同じディレイ設定が適用されます。

ピンポンディレイ

[SHIFT] + [PING PONG] を押すとピンポンモードがアクティブになります。ピンポンモードでは、ディレイ音は左と右で交互に生成されます。短いディレイタイムを使用すると、これらのリピートは「左右非対称」になり、リバーブユニットの初期反射音に似たディレイを生み出します。

ピンポンモードには **1**、**2**、**3** のリピート設定があります。数を大きくするほど、ディレイ音のステレオ幅が広がります。

フィードバックフィルター

フィードバックフィルター (**FB FILTER**) は、ディレイ音を仕上げるためのすぐれたツールです。これは特にディレイのフィードバック量が多い場合に、より活躍します。各ディレイタップはフィードバックすることにフィルターを通過し、その結果、ディレイ音は徐々に「こもったり」、徐々に「乾いたり」しながら後に連なることとなります。

LP 設定では、各ディレイタップはフィードバックすることにローパスフィルターを通過し、そのたびに高周波成分が減衰します。

HP 設定では、各ディレイタップはフィードバックすることにハイパスフィルターを通過し、そのたびに低周波成分が減衰します。これは、長いディレイテールの音の濁りを低減するのに役立ちます。

BP 設定では、各ディレイタップはフィードバックすることにバンドパスフィルターを通過し、そのたびに高周波成分と低周波成分が減衰します。その結果、細いサウンドになります。

フラム

フラム (**FLAM**) は、左右のチャンネルでディレイタイムにオフセットを備えたステレオディレイを生成します。ディレイタイムを短くするとルーム残響のシミュレーションに、長いディレイタイムを使うと複雑なサウンドの作成に、それぞれ使えます。

ピンポンモードと組み合わせると、フラムエフェクトは左右のタップごとに複数のリピート音を生成します。

タップテンポ

ディレイタイムはタップテンポでも設定できます。テンポは、bpm (beats per minute) 値とミリ秒単位の両方で表示されます。同期させたいテンポに合わせて **[TAP/SET ▼]** ボタンを何度か押すだけで、ディレイタイムが自動的に調整されます。

テンポの検出には最低 2 回のタップを必要とします。テンポを微調整するために、それ以上タップすることもできます。

イコライザー

低域、中域、高域のコントロールを備えた 3 バンドのイコライザーです。

イコライザーを **GLOBAL** モードに設定すると、すべてのレイヤーに同じイコライザー設定が適用されます。



ベース (**BASS**) とトレブル (**TREBLE**) の周波数はそれぞれ 100 Hz と 4 kHz で固定です。ミッド (**MID**) の周波数は **[FREQ]** ノブを使用して 200 Hz から 8 kHz までの間で設定できます。

ブースト/カットの範囲は ± 15 dB です。

アンプ

アンプ (**AMP**) ユニットには、洗練されたアンプとスピーカーキャビネットのシミュレーションと、さまざまに使えるオーバードライブが含まれています。オーバードライブの強さは、**[DRIVE]** ノブでコントロールします。オーバードライブがアクティブになっていると、**ON** LED が点灯します。



オーバードライブ

アンプモデルが選択されていない場合、Amp ユニットは、微妙なサチュレーションから叫び声のような歪みに至るまでさまざまに使える、真空管スタイルのオーバードライブを提供します。

アンプモデル

セレクトボタンを押すと、3 つの異なるアンプ/スピーカーからのモデルをシミュレートするかを選べます。

SMALL では、Reed に基づくエレクトリックピアノの内蔵真空管アンプとスピーカーのシミュレーションが提供されます。

JC では、クラシックなソリッドステートアンプとスピーカーキャビネットのシミュレーションが提供されます。

Twin では、クラシックなツインスピーカー構成の真空管アンプとキャビネットのシミュレーションが提供されます。

Alt Tone 設定

[SHIFT] + [ALT TONE] を押すと、アンプモデルのレスポンスと周波数特性が切り替わります。

JC モデルと Twin モデルでは中音域の特性が変わり、高音域が減衰します。Small モデルではシミュレーションするアンプとスピーカーがさらに小さいものに切り替わり、その結果、ラジオのような特性を持つようになります。

コンプレッサー

コンプレッサー (**COMP**) は小さいレベルの信号を大きくし、大きいレベルの信号を小さくすることでサウンドのダイナミックレンジを狭くするエフェクトです。これにより、サウンドにはタイトさとパンチが生まれ、ライブミックスにおいては全体のレベルが制御しやすいものになります。

ACTIVE LED は、ソース信号のレベルがスレッショルドレベルを超えてコンプレッションが適用されている間点灯します。



コンプレッサーを **GLOBAL** モードに設定すると、すべてのレイヤーに同じコンプレッサー設定が適用されます。

グローバルリバーブ

グローバルリバーブ (**GLOBAL REVERB**) ユニットのさまざまなアコースティック環境における音の反射をシミュレートします。

Nord Grand 2 においては、リバーブは「グローバル」なエフェクトです。つまり、プログラム内のすべてのレイヤーが、1つのユニット、1セットの設定を共有します。

ただし、**[SHIFT] + [LAYER SEND]** を押して「レイヤーセンド」モードをアクティブにすると、ドライ/ウェット比をレイヤーごとに設定できるようになります。



リバーブタイプとプリディレイ設定

6種類の異なるリバーブタイプを選べます。

SPRING は、トーンホイールオルガン、ギターアンプ、その他多くの種類の機器に搭載されてきた、クラシックなスプリングリバーブのシミュレーションです。

BOOTH は、非常に短い減衰時間を持つ、小さな部屋のシミュレーションです。

ROOM は、比較的短い減衰時間を持つ、中程度の広さの部屋のシミュレーションです。

STAGE は、中程度の減衰時間を持つ、屋内の自然なアンビエントです。

HALL は、長い減衰時間を持つ、広々としたホールのような響きです。

CATH はカテドラル (Cathedral) のことです。非常に長い減衰時間と没入感を持ったリバーブです。

[SHIFT] + [PRE-DELAY] を押すと、ウェット信号にプリディレイタイムが追加されます。これはウェット音の比率を高くしつつも細かいフレーズを聞き取りやすくしたい場合に役立ちます。

ブライต์/ダークモードとコラール設定

BRIGHT モードまたは **DARK** モードを使用すると、リバーブの周波数レスポンスを変更できます。これはすべてのタイプで有効です。Bright に設定すると低域をわずかに減衰させ、Dark では代わりに高域を減衰させます。

CHORALE 設定をアクティブにすると、リバーブ信号に与えられるピッチ変調が大きくなり、より強い存在感と効果を持ったサウンドになります。

レイヤーセンド

[SHIFT] + [LAYER SEND] を押してレイヤーセンド機能をオンにすると、レイヤーごとにドライ/ウェット比を設定できるようになります。

レイヤーセンドをオフにすると、現在フォーカスされているレイヤーのドライ/ウェット比がすべてのレイヤーに適用されます。

8 MIDI

MIDI 機能

Nord Grand 2 は、ほかのハードウェア機器やソフトウェア音源を制御するマスターキーボードとしても使用できます。また、別のキーボードや MIDI デバイスから Nord Grand 2 を制御することもできます。

MIDI チャンネル

Nord Grand 2 は MIDI メッセージを送受信するときに、送信用と受信用で同じ MIDI チャンネル番号を使います。これにより、Nord Grand 2 のあらゆる機能を外部から制御できます。また、Nord Grand 2 本体におけるキーボード、ペダル、およびパネルの操作を、別の MIDI デバイスやシーケンサーに送信することもできます。

MIDI メッセージは USB 接続と MIDI In/Out 接続の両方で同時に送受信されます。

Nord Grand 2 の演奏を MIDI シーケンサーまたは DAW ソフトウェアに記録する

ここでは Nord Grand 2 を使ったパフォーマンス、つまりペダルやパネルの操作など、すべてのアクションを含めた演奏を、MIDI シーケンサーや DAW ソフトウェアに記録する方法を説明します。

- 1 USB 端子で接続する場合は Nord Grand 2 USB MIDI ドライバーをセットアップし、MIDI 端子で接続する場合は適切な MIDI インターフェイスを用意します。
 - 2 MIDI シーケンサーまたは DAW ソフトウェアをセットアップして、Nord Grand 2 で設定した MIDI チャンネルを受信するようにルーティングします。
 - 3 System メニューでローカルコントロールをオフにします。
 - 4 Nord Grand 2 で使いたいプログラムを選択します。
 - 5 DAW や MIDI シーケンサーで記録を開始します。
- i** パネルのトランスポーズ機能または System メニューの *Global Transpose* 設定によってトランスポーズ値が設定されている場合、記録される MIDI メッセージに影響を及ぼすかどうかは「*Transpose MIDI at*」設定によって異なります。

MIDI メッセージ

Nord Grand 2 では、これらの MIDI メッセージを送受信できます。

ノートオンとノートオフ

- ・ ベロシティを含むノートオンとノートオフの送受信に対応していません。

コントローラー

- ・ System メニューで Nord Grand 2 がコントロールチェンジメッセージを送受信するかを設定できます。
- ・ コントロールペダルまたはエクスプレッションペダルが接続されている場合、CC#11 (エクスプレッション) として送受信されます。
- ・ サステインペダルが接続されている場合、CC#64 (サステインペダル) として送受信されます。Nord Triple Pedal の右側ペダルについても同様に扱われます。
- ・ フロントパネル上のほかのコントロールについても、そのほとんどすべてがコントロールチェンジメッセージとして送受信されます。フロントパネルに対する操作を MIDI シーケンサーまたは DAW ソフトウェアに記録することができます。Nord Grand 2 で扱う MIDI コントロールチェンジメッセージの完全なリストについては、「MIDI コントローラーナンバーリスト」(*ページ) をご参照ください。

プログラムチェンジ

プログラムまたはライブプログラムをロードすると、グローバル MIDI チャンネルでプログラムチェンジメッセージが送信されます。それぞれのコンテンツタイプは、バンクセレクト MSB 値によって識別されます。反対に、プログラムチェンジメッセージを受信すると、Nord Grand 2 は対応するコンテンツを選択します。

1つの MIDI プログラムバンクは、36 個のプログラムからなる 3 つのバンクで構成されています。プログラム番号は 1~108 です。プログラムチェンジメッセージは次の 3 つの要素から構成されます。

	プログラム	ライブプログラム
バンクセレクト MSB	0	1
バンクセレクト LSB	0~5	0
プログラムチェンジ	1~108	1~6

- i** バンクセレクトメッセージを伴わないプログラムチェンジメッセージを受信すると、Nord Grand 2 は現在選択されているプログラムバンクまたはライブプログラムバンクの中からプログラムをロードしようとします。

System メニューでは、現在設定されている MIDI チャンネルで Nord Grand 2 がプログラムチェンジメッセージを送受信するかどうかを設定できます。詳細については、*ページをご参照ください。

ローカルコントロール

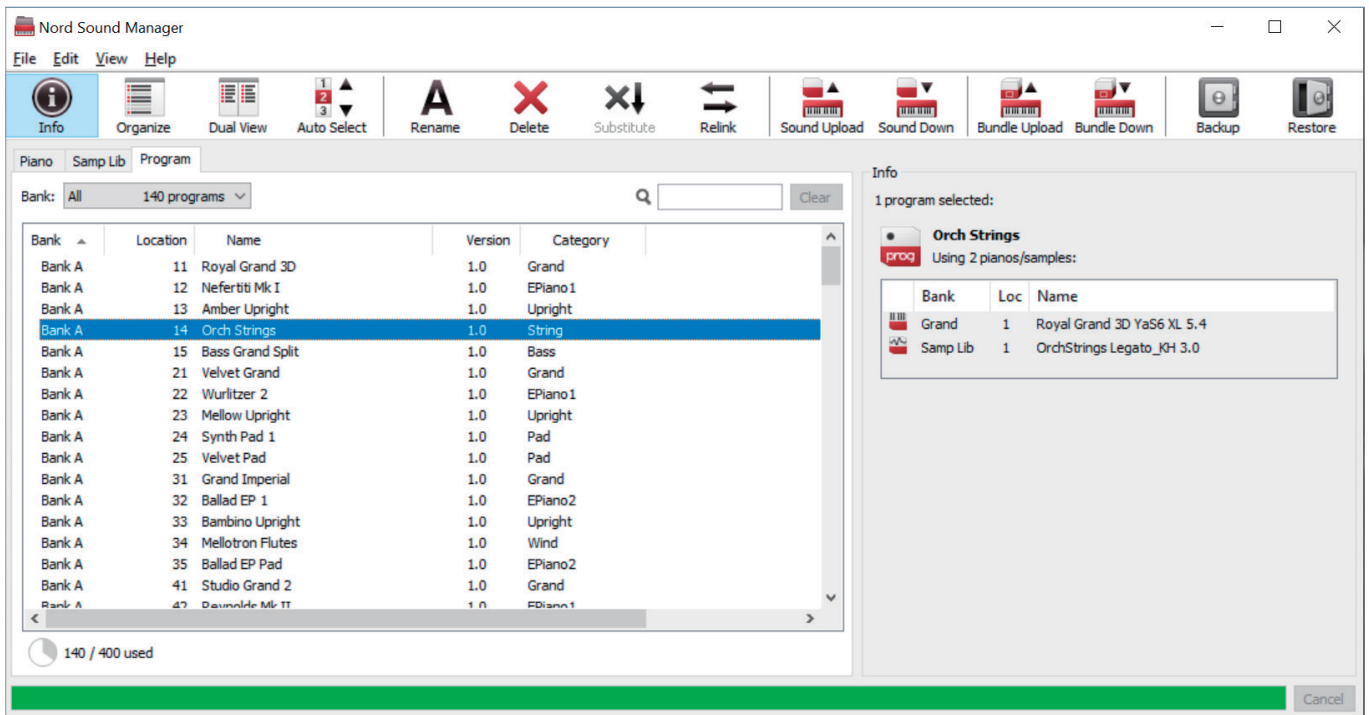
ローカルコントロールがオフに設定されている場合、Nord Grand 2 のキーボードとパネルは音源から「切断」されます。機器が MIDI ループに設定されている場合、たとえば MIDI シーケンサーまたは DAW ソフトウェアと組み合わせて使用する場合には、オフに設定します。ローカルコントロールのオン/オフについては、「System メニュー」(*ページ) をご参照ください。

パニック



[SHIFT] + [PANIC] を押すと、音源の内部に「オールノートオフ」MIDI メッセージが送られ、サステインペダルがリセットされます。これは、MIDI パフォーマンスやライブパフォーマンスの途中で音が止まらなくなった場合、またはほかの理由ですべてのサウンドをすぐに止める必要が生じた場合に使用できます。

9 Nord Sound Manager



Nord Sound Manager について

Nord Sound Manager は、Nord Grand 2 の内蔵メモリーに保存されたさまざまなデータに対しアクセス、入れ替え、バックアップといった操作を提供するアプリケーションです。Nord Sound Manager ができることの一例を次に示します。

- ・ プログラムの並べ替えおよび名前の変更
- ・ コンピューターからのピアノサウンドのダウンロード
- ・ コンピューターからのサンプルファイルのダウンロード
- ・ コンピューターへのプログラムのアップロード
- ・ コンピューターへのプログラムと使用されているピアノサウンドやサンプルファイルのバンドルのアップロード
- ・ コンピューターへの Nord Grand 2 全体のバックアップ
- ・ バックアップを使用した Nord Grand 2 全体の復元

Nord Sound Manager は www.nordkeyboards.com の「Software」エリアからダウンロードできます。

動作環境

Mac OS X 10.13 以降

Windows 7～11

Windows 環境での使用には、Nord USB Driver v4.0 以降が必要です。ドライバーは、OS アップデーター、Nord Sound Manager、Nord Sample Editor に同梱されています。

10 Nord Sample Editor 4



Nord Sample Editor 4 について

Nord Sample Editor 4 は、シンセレイヤーで使用するカスタムサンプルの作成ツールです。録音ボタンを押す、オーディオファイル (.wav または .aiff) を希望するキーにドラッグアンドドロップするだけの簡単な操作で、波形エディター上でスタート、ストップ、およびループポイントが設定され、カスタムサンプルとして Nord Grand 2 で演奏する準備が整います。

フルマッピングされた音源を作成する場合も、シンプルな FX を作成する場合も、楽曲のイントロを単一のキーにアサインするだけの場合も、Nord Sample Editor 4 は Nord Grand 2 とともに多くの可能性を開きます。Nord Sample Editor 4 の主な機能を次に示します。

- ・ 直感的なユーザーインターフェイス
- ・ アプリケーション単独での録音機能
- ・ 単一または複数のファイルのドラッグアンドドロップへの対応
- ・ 自動または手動によるインポート
- ・ 複数ゾーンに対する一括編集
- ・ 無音ゾーンの作成

Nord Sample Editor 4 は www.nordkeyboards.com の「Software」ページからダウンロードできます。

動作環境

Mac OS X 10.13 以降

Windows 7~11

Windows 環境での使用には、Nord USB Driver v4.0 以降が必要です。ドライバーは、OS アップdater、Nord Sound Manager、Nord Sample Editor に同梱されています。